

2025 アルバック・ファイ 技術講演会

日時：2025年 7月10日(木) 13:00～17:00

会場：建築会館

AGC 株式会社 鈴木 俊夫 様

AGCにおける分析・解析部門の役割

本講演では、AGCの分析・解析部門の役割とそれを支えるチームの体制や組織構造について紹介し、運営方法を説明します。また、今後の技術展望や次世代の人材育成に向けた取り組み、事業への貢献についても触れます。最後に、表面分析の活用事例について、具体的な技術応用事例とその成果を紹介します。

物質・材料研究機構 吉川 英樹 様

XPSを例とした公的材料データプラットフォームの活用の事例紹介とその将来展望

表面分析データの取得→編集・前処理→蓄積→解析→材料学的解釈の作業フローにおいて、「自動化を含む作業フローの迅速化」と「属人性を排除した作業フローによる結果の信頼性向上」は、表面分析の現場において目指すべき重要事項になります。その実現方法として、政府のマテリアルDXプラットフォーム構想においてNIMSが運営を担う材料データプラットフォームを活用する選択肢があり、XPSを例としたその活用事例とそれを支える周辺技術を紹介すると共に将来展望を述べます。

京都大学 松尾 二郎 様

SIMS：次の一手

この10年、SIMS法に次々と新しい手法が導入され、分析能力も飛躍的に向上しその応用分野も目覚ましく拡大してきています。今後のさらなる発展には、常にその先を見据え、積極的に新技術を導入することが肝要です。本講演では、SIMS法の現状を俯瞰し、次のブレークスルーの可能性について議論したいと思います。